学校番号	208

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2	年次	2
使用教科書	歴史総合　（実教出版）						
副教材等	ワークノート、ダイアローグ歴史総合（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では産業革命以降の歴史について学習します。
その過程において歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を得ることを目指します。

2　学習の到達目標

① 世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
② 様々な視野から現在との関わりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、考察したことを説明したり、それらを基に議論することができる。
③ よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとすることができ、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解することができる。 ○諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，皮革，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	・歴史の扉 ・近代化への問い ・17 世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ・江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・江戸時代の生産・流通と諸改革 ・幕政の改革と東アジア世界	a :様々な資料から情報を読みとったり,まとめたりする技能を身につけている。 b :様々な資料を活用して,近代化にともなう生活や社会の変容について考察し,問いを表現している。 c :様々な資料から,情報を読みとったりまとめたり,複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより,興味・関心をもったこと,疑問に思ったこと,追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
		・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	a :１８世紀前後の各国の政治,貿易などを基に,１８世紀とその前後の世界の経済と社会を理解している。 b :１８世紀前後の各国のできごとや影響などに着目して,各国の経済活動の特徴,アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的･多角的に考察し,表現している。 c :１８世紀前後の各国の歴史の変化に関わる諸事象について,よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求,解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
		・イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法	a: 19 世紀後半の各国の政治,国際関係を基に,19 世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 b: 19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して,19 世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴,ヨーロッパ各地域間の関係,日本と欧米諸国との関係などを多面的･多角的に考察し,表現している。 c: 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について,よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求,解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

		・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動 ・日本の産業革命	a：１９世紀から２０世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通，貿易などを基に，アジアの経済と社会を理解している。 b：１９世紀から２０世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、日本における政治の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
２学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・米騒動と大正デモクラシー ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・アジアの民族運動 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a：第一次世界大戦前後の展開を基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b：第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：２０世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

		・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満洲事変と軍部の対立 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発 ・第二次世界大戦の終結 ・国際連合の成立と冷戦 ・日本占領と日本国憲法 ・朝鮮戦争と日本	a：世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺、第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制を理解している。 b：経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
3学期	グローバル化と私たち	・植民地の独立 ・米ソ両陣営の動揺 ・日本の国際社会復帰と高度経済成長 ・石油危機と世界経済 ・緊張緩和から冷戦の終息へ ・日本の経済大国化	a：脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解し、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 b：地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1950 年代の冷戦期から 1970 年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

		地域紛争と対立 国際秩序の変容	a：歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 b：事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c：21 世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度